

# 2017年（平成29年度）事業報告書

特定非営利活動法人兵庫障害者センター

## 1. 事業の成果

障害を持つ人とその家族は、福祉度や年金についてなど多くの情報を必要とし、身近に相談できる場所を探しています。特に兵庫障害者センターでは、毎月定例として弁護士、社会保険労務士など専門の相談員が相談活動を無料でを行い、障害をもつ多くの人たちの支えとなっています。電話による相談も増えています。また、平日も必要に応じて相談を受けているので、患者・家族の心のよりどころとなっています。

私たち年度は「障害者権利条約」を軸として、学習会を開き障害者の就労やくらしについて学びました。

「災害と障害者のつどい」を連続して開催し、県内の自治体に対して「要援護者に対する支援体制について」また、障害者や難病患者を対象とした「災害時の避難について」のアンケートを実施・分析しました。結果を見ると、自治体の備えに対する考え方がまだ不十分であったことがうかがえます。

障害者団体の活動を支援する場所としての事務所・会議室の活用も成果があり、団体間の情報交換の場として役立っています。さまざまな障害者とその家族のための支援活動は着実に成果を上げています。

## 2. 特定非営利活動に関する事業

### (1) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する相談助言と支援事業

弁護士さんが輪番で必ずきてくださる、社会福祉労務士が2名来所、その他子どもに関わる相談を受ける人など、多くの方が協力してくださり充実した相談体制ができています。無料で受けられますのでリピーターの方もあります。

### (2) 医療・福祉・教育・生活など暮らしに関する調査・研究と情報提供、及び各種つどい開催事業

A) 「障害者権利条約を暮らしに活かす」を共通テーマとした学習会を連続講座として開催しました。

日時	相談者	相談内容	対応者
2017年4月8日	障害者と家族 2名	年金受給、施設の対応、	弁護士、社労士他
2017年5月13日	障害者と家族 1名	年金	弁護士、団体役員
2017年6月10日	障害者と家族 1名	くらしと年金、近隣の問題	弁護士、社労士
2017年7月8日	障害者と家族 1名	相続のこと	弁護士、社労士他
2017年8月12日	障害者と家族 3名	生活のこと、くらしと年金	弁護士、社労士他
2017年9月9日	障害者と家族 2名	年金受給のこと	弁護士、社労士他
2017年10月14日	障害者と家族 0名	生活、年金	弁護士、社労士他
2017年11月11日	障害者と家族 1名	障害年金、就労問題など	弁護士、社労士他
2017年12月9日	障害者と家族 2名	施設の対応、くらし	弁護士、社労士他
2018年1月13日	障害者と家族 0名		弁護士、社労士他
2018年2月10日	障害者と家族 1名	年金、生活	弁護士、社労士他
2018年3月10日	障害者と家族 1名	年金支給停止	弁護士、社労士他
電話相談 随時	障害者と家族 多数	年金受給、生活保護、日常生活の支援、就労支援のこと、障害者虐待の訴え、傾聴	社労士、団体役員 社会福祉士他

第1回 「障害は迷惑じゃない」

日時 2017年10月22日(日)  
会場 神戸市障害者福祉センター  
講師 井上 吉郎さん

台風のため警報発令により中止としました

第2回 「CAFÉ RESTAURANT ほのぼの屋の挑戦」

～福祉からの脱却をめざして～

日時 2017年12月2日(土) 13:30～15:30

会場 神戸市障害者福祉センター

講師 社会福祉法人まいづる福祉会 ワークショップ BONO

内海 あきひさん

内容 障害者が働くことのできる喜びを感じ、働く中で自分に自信と誇りをとりもどし、変わっていくことを実際の取り組みをとおして学びました。



参加者 23名

第3回 「障害のある人のゆたかな教育を求めて」

日時 2018年3月18日(日) 13:30～15:30

会場 あすてっぷ KOBE セミナー3

講師 市位 葉子さん(特別支援学校教員)

内容 特別支援学校のキャリア教育によって目に見える目標ができて、やる気につながったこと、多くの経験が積めたことがある。障害者権利条約に照らして、人間らしさを取り戻して、学ぶよろこびを感じてほしいと願っていると話されました。



参加者 15名

B) 阪神・淡路大震災から23年。被災地として障害者に対する避難の体制がどう整備されたか、どんな課題があるか整理し、今後どのような体制づくりが必要なのかを考えるために「災害と障害のつどい」を開催しました。

2017年度「災害と障害者のつどい」の開催

災害にどう備えるか 記憶をたどり提案する ～豪雨災害を中心に～

①日時 2018年1月28日(日) 13:00～16:30

②会場 あすてっぷ KOBE セミナー1.2

③内容

基調講演

「障がい者の命を守り、つなぎ、輝くために」

－福祉防災計画のススメー

講師 跡見学園女子大学観光コミュニティ学部教授 鍵屋 一氏  
調査報告

①「兵庫県 41 市町の災害時配慮者への施策」

報告者 神戸大学大学院工学研究科准教授 大西 一嘉氏

②「豪雨災害への障害者・難病患者の防災や避難等に関する調査」

報告者 神戸大学都市安全研究センター研究支援推進員 岡田 尚子氏  
ディスカッション(参加者からの事前アンケートに基づいて質疑・討論等)

コーディネーター 大西 一嘉氏

パネラー 宇田川 真之氏(人と防災未来研究センター研究員)

冒頭発言：豪雨災害等について

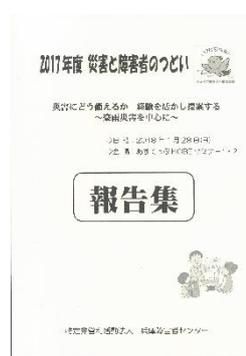
鍵屋 一 氏、岡田 尚子氏

- ④ 効果 豪雨災害は土砂災害も引き起こすため災害時要  
援護者支援対策が大切になる。災害時には、  
障害や疾病によって避難移動の困難さが異なり、また支援のあり方も異なる。そのため「個別支援プラン」を作成し、プランに基づいて訓練を行い、常に見直すことが重要であります。

自治体アンケートの結果は、市町の努力で福祉避難所の設置が進んでいるが直接避難等、課題が残っている。また、避難行動要援護者自身が、豪雨災害にどう備えるかに関する調査の結果、平時から災害に関する意識喚起が大事。そのためには、地域での避難訓練への参加や地域住民とのつながりをどう築くかが重要となります。

以上ことがこのつどいで示され、日頃の取り組みの参考となりました。

- ⑤参加者 65名



(C) 情報提供事業

- ① 行事など開催の際には、チラシを作成して配布、ホームページに学習会や集いの予告などを掲載しました。
- ② 各種事業の計画等の開催に際してニュースを発行し、事業開催の様子を伝えました。

### (3) 障害者団体の援助・支援事業

団体の活動への相互参加や情報交換ができたこと。それぞれの団体の活動拠点としての役割を果たしました。資機材の利用は円滑であり、共同事務所として順調に運営しています。

## 3 会議報告

### ① 通常総会の開催

- (1) 日 時 2017年5月28日(日) 14:00～
- (2) 会 場 あすてっぷ KOBE セミナー3
- (3) 出席者 正会員 個人 16名中 出席 7名 委任状 9名  
正会員 団体 7団体中 出席 6団体
- (4) 議 事 2016年度の事業報告と収支報告、監査報告について  
2017年度 事業計画と予算の承認

### ② 理事会の開催

- 第1回理事会 2017年4月28日(金)  
19:00～20:40 出席者 7名(委任状 2名)
- 第2回理事会 2017年6月23日(日)  
10:00～11:20 出席者 6名(委任状 2名)
- 第3回理事会 2017年9月1日(金)  
19:00～20:20 出席者 7名(委任状 名)
- 第4回理事会 2017年11月15日(金)  
19:00～20:30 出席者 6名(委任状 1名)
- 第5回理事会 2018年1月10日(金)  
19:00～20:10 出席者 7名(委任状 名)
- 第6回理事会 2018年3月30日(金)  
19:00～20:30 出席者 7名(委任状 名)

## (2) 事務局体制

### ① 事務局長；井上 義治

事務局スタッフ；会計 木村 宏美 庶務 中尾 暁子

### ② ミーティング

毎週月曜日 10時から1時間程度 1週間の予定等打合せ

## (3) 会員

- ① 正会員 団体 7団体 個人 17名
- ② 賛助会員 個人 9名

以上